

令和6年度都立駒場高校における教科指導の重点

重点科目	重点課題	取組	発展的取組
国語	・思考、判断の力を伸ばす学習活動の充実 ・「読むこと」「書くこと」の指導の充実	・解答が限定されない問いに、主体的協同的に向き合う活動を積極的に導入する。 ・調査や学力テストに新傾向の出題を組み入れる。 ・4月に担当者間で年間指導計画について共有、指導事項について確認する。 ・副教材や作文、小論文、ノートによる提出物等で指導の充実を図ることを確認する。 ・添削指導などによる読解力、記述力の向上に向けて、生徒の状況を把握して指導に活用する。	・教科横断的な教材や複数資料を取り入れて比較照合を行い、言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力を発展的に育成する。 ・定期考査ごとに担当者全体での問題の検討と精査を行う。 ・定期考査への入試問題を取り入れる。 ・添削指導による読解力、記述力向上への取り組みを実施する。 ・長期休業中の補習等を実施する。 ・小論文等の個別指導を実施する。 ・オンラインを活用した指導に取り組み、個別ニーズに対応する。
地歴公民	・「探究的学習」 ・「国際理解」	地歴公民科としての一貫性を保ち、50分の授業で勝負できる精度の高い授業 国際社会に貢献できる人材の育成	・対話的な協働学習を重視する。 ・ICTを活用する。 ・主権者教育の充実を図る。 ・国際理解を促進していく。
数学	数学的活動を通して、数学的に考える「思考力」の育成	・事象を数学的に理解したり、数学化して表現したり、処理する力を育成する授業の実施。 ・数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う教材の開発。	・事象の本質や他の事象との関係を認識し、統合的・発展的に考察する力を養う授業の実施。 ・深い考察を要する問題を作問し、定期考査や学力テストにおいて出題する。
理科	「探究の過程」を踏まえた学習活動の充実	・大学入学共通テストや二次試験の問題を分析した授業展開 ・基礎的事項の理解の徹底とそれを踏まえた考察・推論へつなげる主体的な学習	・大学研究室や科学館に出向き、探究の具体的課程を自らの手でまとめる学習 ・「探究の過程」を踏まえた教科書の内容を超えた現象についての講義
英語	「話すこと」「書くこと」の指導の充実	・学期毎に目的を定めたパフォーマンステストの実施 ・語彙・文法・構文→和文英訳→自由英作文への段階的な指導	・定期考査ごとに担当者全体での問題の検討と精査 ・添削指導等による記述力向上への取り組み